



社説 スクラップ&ビルドから
ストック&リノベーションへ
京都・丸喜

続いて正午より京都佛丸嘉小畑隆正社長が「古材・パインウッドを使つてのリノベーション」をテーマに講演した。古材ビジネスに取り組む同社の倉庫には古梁3000丁、古柱20000本、建具4000台、欄間1000台、銘木500枚が保管されてい

る。古材を古財に再生させて販売、アジアからの客も多い。同社は古民家を丸ごと買い取り、一点ずつ異なる表情を持つ古材をリサイクルする前にリユースする。持続可能な社会の実現でもある。小畑社長は言う「スクラップ&ビルドからストック&リノベーションの時代だ」と。古材を店舗に使用するユーザーが多く、常に「木材は経年によって熟成され、古材がストレスを緩和し価値ある店舗になります。懐かしさと新しさの融合、つまり温故知新です」と元気が出る店舗づくりの仕掛けを語った。また、パインと

は「農機具小屋」のこと、カナダに赴き小屋ごと買い付けると言う。

毎月5日・20日発行

〒595-0051 大阪市西区南堀江三丁目
発行所 東洋木材新聞社
電話(六二〇)八〇八二番
FAX(六二〇)八〇八三番
振替口座〇九〇〇〇三〇
定価一年一万円(税別)
発行人 島崎公一